



下京のひびき

市民しんぶん下京区版

2・15

推計人口	男	女
79,755人	36,975人	42,780人
世帯数	44,203世帯	
(平成24年1月1日現在)		



「京都力」を発揮し、 オール京都で 未来の京都を創ります

この度の市長選挙の結果、現職の門川大作市長が当選。引き続き市政を担うことになりました。

門川大作市長は、4年前の就任以来、市役所と市民の皆さんが共に汗する「共汗」、府市協調により二重行政を打破し、行政の縦割りを排する政策の「融合」、「現地現場主義」を信条に市政改革に邁進してきました。2期目に向けては、市基本計画「はばたけ未来へ！京プラン」に示した京都のまちの未来像を実現する決意を表明。市政運営の中心に据える3つの柱を掲げました。

市では、門川大作市長を先頭に職員一丸となり、「京都に住んでよかった」「京都で子育てしてよかった」と実感いただけるまちづくりを市民の皆さんと共に進めます。

かどかわだいさく

門川大作市長が再選

3つの柱で市民の皆さんと共汗協働。

- 1** 市民のいのちと暮らしを守り、力強い経済の再生と雇用創出

 - 新規融資枠の確保など中小企業の経営支援体制を確立、公契約基本条例の制定、知恵産業・観光振興等で雇用を創出
 - 地域包括ケアの充実や介護サービス施設の整備など福祉のまちづくり
 - 子どもの通院医療費助成を小学校卒業までに拡充、保育所の待機児童ゼロ、教育の充実で、子育て環境日本一の京都づくり
 - 橋の耐震補強・老朽化修繕、木造住宅の耐震改修を支援する新制度の創設などによる地震・災害に強い都市づくり 他

2 京都の魅力に更なる磨きをかけ、都市格を高め、「世界の文化首都・京都」へ飛躍

 - ごみ減量の推進、太陽光など自然エネルギーの普及拡大などによる原子力発電所に依存しない安心で環境に優しいまちづくり
 - 京都会館・市美術館の再整備と新たな文化芸術祭典の実施による「世界の文化首都・京都」の実現
 - 新景観政策の進化による美しい自然や歴史的町並み景観保全、まちの活性化
 - 歩いて楽しいまちや南部創造のまちづくりの推進 他

3 区役所改革などによる地域主権時代をリードする自治の構築と財政構造の抜本改革

 - 区民提案予算・協働で進めるまちづくり支援制度、区民まちづくり会議の創設による地域主体のまちづくり、区役所改革の推進
 - 府市協調・政策の融合による二重行政・縦割り行政の打破
 - 徹底した行政の効率化、行財政改革、総人件費の縮減により財源を確保
 - 市の借金を減らし将来にわたって安定的な財政基盤の確立 他

絆・魅力・伝統を未来に
つなぐまち 下京

下京区役所ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/shimogyo/>

市政情報総合案内コールセンター

京都いつでもコール

午前8時～午後9時

市への問い合わせに年中無休でお答えします。

☎ 661-3755 FAX 661-5855

電子メール <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
携帯メール <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>